

# 令和2年度 シラバス

愛媛県立津島高等学校

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	2	学年	1年	類型	—
教科書	第一学習社 高等学校 改訂版 社会と情報			副教材	第一学習社 改訂版 教科書準拠準拠ノート 社会と情報 整理と実習				

学期	月	単元名	指導項目、内容	評価の観点				学習のねらい・学習の目標・評価の観点	
				①	②	③	④		
1 学期	4	第1章 情報の活用と表現	1 情報とその活用	1 「情報」の重要性	◎	○		<p>学習のねらい</p> <p>1学期はパソコンの操作や情報通信ネットワークの活用方法を学びます。インターネットの利用法や注意点、また表計算ソフトウェアを活用した情報の分析方法を実習します。 2学期は情報化がもたらす影響、情報モラルについてや、望ましい情報社会のあり方と情報技術の活用について学びます。また、プレゼンテーション用ソフトウェアを活用した情報発信の方法を実習します。 3学期はデータのデジタル化、情報通信技術についてやコミュニケーション手段の発達、情報の特徴、メディアの意味や情報通信ネットワークのしくみ・特性、効果的なコミュニケーションの方法を学びます。</p> <p>学習の目標</p> <p>情報の各分野（情報の活用、情報の収集・発信、情報ネットワーク）に関する「知識」と「技術」を、実習を通して習得します。また、情報モラルの学習を通して、常識ある行動がとれる社会人になるよう、実践的な態度を身に付けます。</p> <p>評価の観点</p> <p>① 関心・意欲・態度</p> <p>情報や情報社会に関心を持ち、身の回りの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとしているか。</p> <p>② 思考・判断・表現</p> <p>情報や情報社会における身の回りの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現しているか。</p> <p>③ 技能</p> <p>情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っているか。</p> <p>④ 知識・理解</p> <p>情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解しているか。</p> <p>備考</p>	
			2 情報とメディア	2 情報の受信者として	3 情報の発信者として	○	◎		○
	5	第2章 情報通信ネットワークとコミュニケーション	2 情報の表現	1 アナログとデジタル 2 数値の表現	◎	○			
			3 文字の表現 4 画像の表現	5 音と動画の表現 6 情報の統合		◎	○		
	6		1 コミュニケーション手段の発達	1 人間社会とコミュニケーション手段	○	◎			
			2 ネットワーク上のコミュニケーション手段	3 期末考査	○	○	○		◎
	7		2 情報通信ネットワークの仕組み	1 コンピュータネットワークの仕組み	◎	○			
2 学期	8		2 インターネットの仕組み 3 情報の効率的な伝送	◎	○				
			4 電子メール	○	◎				
	9		5 Webの仕組み		◎	○			
			3 ネットワークコミュニケーション	1 コミュニケーション手段の選択			◎		
	10	第3章 情報社会の仕組みと安全性	2 コミュニケーションと情報モラル	2 ネットワークコミュニケーションの可能性	○	○	○	◎	
			1 情報システム	1 情報システムとその実例		◎	○		
	11		2 情報システムの構造とはたらき	3 情報システムとプライバシー		○		◎	
			2 情報社会の法と個人の責任	1 個人の権利			◎	○	
	12		2 著作権	2 他人を傷つけないために	◎				
			3 情報社会と安全性	1 情報セキュリティとは 2 さまざまなセキュリティの侵害	○		◎		
3 学期	1	第4章 情報社会と問題解決	3 セキュリティのための技術 4 安全性に向けての行動		○	◎			
			1 情報化の恩恵	2 情報化の課題 3 情報化が生み出した新たな犯罪	◎	○			
2			2 人間活動を支援する情報技術	1 人間にとって使いやすい情報技術		◎	○		
			3 グループワークと情報技術	2 人間活動を支援する情報技術	○		◎		
3			3 問題とその解決	1 問題解決の手段 2 問題の定義と明確化	○		◎		
			3 情報の収集と分析 4 問題解決のさまざまな手法	5 問題解決の評価と改善 6 情報検索と問題解決	◎		○	◎	

※評価の観点 ①：関心・意欲・態度 ②：思考・判断・表現 ③：技能 ④：知識・理解

◆学習方法のポイント

【情報の特色】

- 情報はコンピュータや情報通信ネットワークを使って、情報を収集したり、発信したりすることを学ぶ科目です。
- 1学期はパソコンの操作や情報通信ネットワークの活用方法を学びます。
- 2学期は情報化がもたらす影響、情報モラルについて学びます。
- 3学期はデータのデジタル化、情報通信技術について学びます。

【授業】

- 週に2時間の授業があります。
- 授業は実習中心になります。
- 実習が間に合わない場合は休み時間や放課後を利用して行うことはできますが、できるだけ与えられた時間内に作品が完成するよう「見通しを立てた活動」も、大事な「情報処理能力」の一つです。
- 毎時間「整理と実習」に重要事項を記入します。
- ファイルの綴じ方も、「情報整理」のひとつです。

【定期考査】

- 定期考査は各学期期末考査です。

◆評価の方法、規準

評価の方法	定期考査、授業への出席状況および学習意欲、課題提出とその内容、ノートの整理状況を ①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現 ③技能 ④知識・理解の四つの観点 から評価します。ただし、定期考査を重視します。	
評価の規準	1 学期	期末考査(全ての観点から評価しますが主に④を重視します。) 出席状況及び学習意欲(主に①の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況等(主に②の観点から評価します。)
	2 学期	期末考査(全ての観点から評価しますが主に④を重視します。) 出席状況及び学習意欲(主に①の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況等(主に②の観点から評価します。)
	3 学期	学年末考査(全ての観点から評価しますが主に④を重視します。) 出席状況及び学習意欲(主に①の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況等(主に②の観点から評価します。)
	学 年	1学期の成績、2学期の成績、3学期の成績の平均